

放課後子ども教室／夏休み子ども教室  
冬休み子ども教室安全管理対応マニュアル

～重大な事故発生に備えて～



平成 30 年 4 月

日野町教育委員会

## 【放課後子ども教室・夏休み子ども教室・冬休み子ども教室の概要】

### —安全管理関係抜粋—

- 開催期日 小学校開業日（放課後子ども教室）  
夏休み期間の平日（夏休み子ども教室）  
冬休み期間の平日（冬休み子ども教室）
- 開催場所 小学校 多目的教室・体育館・校庭・学校周辺・河川ほか
- 対象 各学校の1年生～6年生
- 目的 子どもたちの居場所づくり、安全確保、子育て支援、集団生活力の向上、リーダーシップを発揮できる子どもの育成
- 支援体制 コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターほか
- 見守り 出欠席を確認し子どもから体調を聞き取り、開催中に体調不良を確認した場合は、保護者に携帯電話等で体調を報告し、保護者の迎えで帰宅する。
- 事故補償 保護者負担によりスポーツ安全保険に加入する。  
申込み時に傷害保険の補償範囲を超えない補償で同意あり。
- 連絡先 自宅・携帯・勤務先・家族などの電話番号（緊急連絡先）を申請時に把握する。
- 体調把握 健康状態・平熱・アレルギー・生活で注意しなければならないことなど申請時に把握する。
- 連絡確認 携帯電話・携帯メールで出欠席や体調等を確認する。
- 説明会 放課後こども教室・夏休み子ども教室ごとに事前に開催する。
- 研修参加 鳥取県が開催する研修会等に参加する。

## 重大な事故・体調不良の対応について

### 【主な事例】

- 事例A 多目的教室で高熱を発症し、吐き気やふらつきなど体調不良を確認した。意識がもうろうとしている。
- 事例B 自然観察で生き物の生態を調べていたとき足を滑らせ大きなけがをした。骨折しているかもしれない。
- 事例C 川遊びをしていたとき石につまづき、手足を裂傷し大量の流血がある。止血できない。

### ■重大な事故（緊急時）の対応

- ◆状況把握 【例】○意識がない○骨折した○止血が困難○頭部を強打
- ◆応急手当・保護者への連絡
- ◆必要に応じて救急車の要請  
※現場で相談し、判断がつかない場合は迷わず 119 番に連絡する。

#### 「救急車要請する場合」

- ①場所②連絡先③通報者名④事故及び症状⑤子どもの氏名ほか情報を報告できるように事前に準備する。

#### ◆事故・症状の記録

通報者を含め教育活動サポーターほか関係者と情報を共有し記録を残す。子ども教室の担当は取りまとめ事故記録を作成する。

##### ①発生時の状況

いつ・どこで・誰が・どのように状況か

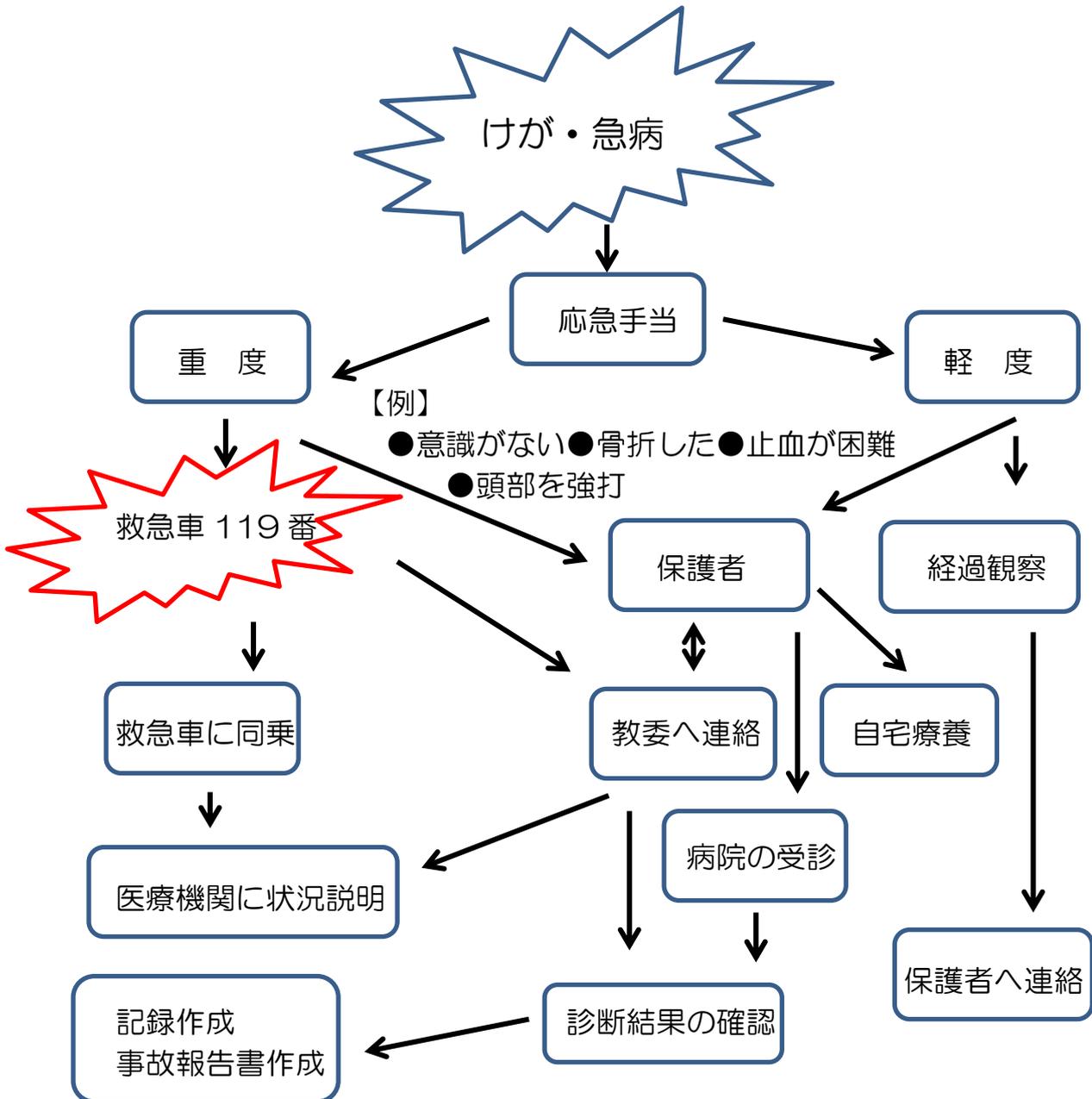
##### ②対応時の状況

時間経過・手当状況・連絡（通報）状況を詳細にまとめる。

#### ◆報告

- ①速報（発生後速やかに）教育委員会（☎72-2107）へ報告する。  
いつ・どこで・誰が・どのような状況か
- ②第2報（子どもを保護者に引き渡した後）
- ③事故報告 担当が関係者から聞き取り、事故記録を作成し報告する。

## けが・急病の発生時のフロー図



※事前に指定病院を確認する。

※フロー図は基本的な流れで実態にあわせて、順番が前後することがあります。

【緊急連絡先】

- 日野病院 ☎72-0351 ●根雨子ども教室 ☎080-2901-4659
- 教育委員会 ☎72-2107 ●黒坂子ども教室 ☎080-2901-4660